ハローキティアート展

1、趣旨

1974 年に日本で誕生したキャラクター「ハロー・キティ」は世界 109 か国で愛されています。

本展では、東海 3 県の美術館で初めて開催する企画展として、1980 年から 3 代目デザイナーをつとめる山口裕子さんの自由な発想により描かれた大型絵画作品やオブジェなどオリジナル作品 17 件をはじめ、1975 年に発売された第 1 号グッズのプチパース (おさいふ) や創業 30 周年記念の限定テレビ、企業とのコラボレーション商品の原付バイクやご当地キティなど、懐かしくなじみ深いグッズ約 200 点を紹介します。

期間中には「山口裕子トーク&サイン会」や「ハローキティ撮影会」などを企画し、 熱烈なキティファンだけでなく、これまで美術博物館を訪れたことがない子どもから 高齢者まで幅広い世代で楽しんでいただけるものとしました。

2014年はキティ生誕40年にあたるメモリアル・イヤーです。常に身近な存在であったキティの新たな魅力を現代アート及び博物学的視点から紹介します。

- **2、会期** 平成 26 年 2 月 22 日 (土) ~3 月 30 日 (日)
- 3、会場 豊橋市美術博物館1階 展示室1~3
- **4、観覧料** 一般・大学生 800 (600) 円、小中高生 400 (300) 円 ※「ほの国パスポート」利用の小中学生は無料となります
- 5、主催 豊橋市美術博物館、中日新聞社、NHK サービスセンター
- **6、特別協力** (株)サンリオ

豊橋市の企画(★は初めて企画するもの)

[オープニング] 2月21日(金)14:00~

- ・テープカット/デザイナー山口裕子さん、くるみ保育園年長組
- ・山口裕子さんによる作品解説
- ★招待客の募集(抽選で30人限定)
 - ・広報とよはし2/1 号で募集する10組20人
 - ・美術博物館および友の会HPで募集するブロガー10人(自身のブログで企画展をPRできる方)

[山口裕子トーク&サイン会]

2月22日(土)、3月21日(祝)午前10時、午後2時(1日2回各20人)

山口裕子さんによる展示解説やいちごキティなど制作にかかるトークと企画展の 図録購入者限定のサイン会。ともに観覧料が必要。

[ハローキティ撮影会]

3月9日(日)午前10時・11時30分、午後1時30分・3時(1日4回各30組) 持参したカメラでキティと一緒に記念撮影。開始30分前から整理券配布(先着順)。

★東三河広域連携「子どもたちの鑑賞体験」の募集

展覧会は子どもたちが美術館を体験し、芸術に触れ合う最大の機会です。今回は対象を東三河広域まで広げ、展示資料の芸術性と学芸員が持つ情報から、子どもたちに新たな感性と価値観をつくりあげてもらいたいと考えています。

対象: 東三河の小・中学校、保育園、幼稚園など1団体40人程度

(小学生未満は保護者の同伴可。人数は相談により応じます)

実施日:展覧会期間中の団体が希望する日時(事前に相談必要)

その他:費用は無料ですが、大型バスの利用は先着5団体。

応募方法: 平成26年2月7日(金)までに美術博物館(☎0532-51-2882)まで。

★「春のイベントスタンプラリー」の開催

こども未来館、文化財センター、本陣資料館の4館連携のスタンプラリー。先着400人にサンリオキャラクターのシールまたはメモ帳をプレゼントします。スタンプシートは「ここにこ通信(春号)※」に観覧料の割引券と一緒に掲載します。

※東三河全域と湖西市、岡崎市、安城市、幸田町の全小・中学校、保育園、幼稚園に配布。 <パーフェクト賞>

4 館全てのスタンプを集めると、美術博物館および二川宿本陣資料館で開催する「夏休み企画展※」のセットファミリー招待券をプレゼントします。

※「安野光雅 世界の旅絵本展」、「お化け浮世絵展」を予定

[3館の会期とプレゼント]

館名/イベント名	会期	プレゼント
文化財センター/	2月24日(月)~3月29日	瓜郷遺跡ペーパークラフ
大口・小嶋コレクション「土や	(金)の平日と3月8日(土)	トまたは文化財センター
紙のおひな様と昔のおもちゃ」	の午前8時30分~午後5時	オリジナルストラップ
二川宿本陣資料館/	3月16日(日)までの午前9	本陣オリジナル缶バッチ
ひなまつり	時30分~午後5時	または一輪差し
こども未来館/「とよはし模		こども未来館オリジナル
型博 in ここにこ」	3月20日(木)~4月6日(日)	ニコリン缶バッジ

参考:山口裕子さんについて

3 代目デザイナー。現在はプロデューサーとしての役割も担っている。就任後、それまでのキティを少しずつ変化させ、顔の太い輪郭線をなくして立体感を創出し、目や鼻の微妙な位置にも気を配り、動きと表情を持たせた新しいキティを育て上げた。1996 年のピンクキルトシリーズでは、女子高校生を中心に社会現象を巻き起こすなど、時流に合ったしなやかな感性・プロデュースでキティを普遍的な存在とした。